（様式1）

受付番号：

2022年度Ⅱ期　ライフ・ワーク・バランス実現のための研究支援制度利用申請書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 | 性別 |  |
| 所属・職名 |  |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　　　　E-mail：休業中も、連絡可能な宛先をご記入ください。 |
| 利用期間 | 年　　月　　日　～　 年　　月　　日 |
| 雇用したい支援員の形態 | １）臨時職員一般業務　（　　）人、週（　　）日、1日当たり（　　）時間専門業務A（　　）人、週（　　）日、1日当たり（　　）時間専門業務B（　　）人、週（　　）日、1日当たり（　　）時間専門業務C（　　）人、週（　　）日、1日当たり（　　）時間※1日当たり7時間45分未満の勤務時間を設定する場合は、（　）に**1時間単位で**記入すること。２）リサーチ・アシスタント(RA)博士前期課程（　　　）人、月（　　　）日、1日当たり（　　）時間博士後期課程（　　　）人、月（　　　）日、1日当たり（　　）時間※1日当たり7時間45分未満の勤務時間を設定する場合は、（　）に**1時間単位で**記入すること。３）ティーチング・アシスタント(TA)　博士前期課程ゼミ・講義名：　　（　　）人、（　　）回、１回当たり（　　）時間ゼミ・講義名：　　（　　）人、（　　）回、１回当たり（　　）時間　博士後期課程ゼミ・講義名：　　（　　）人、（　　）回、１回当たり（　　）時間ゼミ・講義名：　　（　　）人、（　　）回、１回当たり（　　）時間　シニア・ティーチング・アシスタント(STA)ゼミ・講義名：　　（　　）人、（　　）回、１回当たり（　　）時間ゼミ・講義名：　　（　　）人、（　　）回、１回当たり（　　）時間※TAは、ゼミ・講義ごとに人数と回数を記入することとし、授業回数を超えない範囲で　　　　申請すること。※臨時職員、RAの給与水準、TA謝礼金の時間単価等（2021年度）については、添付資料を参照。※2022年10月1日～2023年3月31日は、26週とする。 |

1．本制度の利用計画

※支援員に依頼したい業務内容と勤務形態（勤務予定時間など）について、具体的に記入してください。

なお、業務内容は子どもの養育ではなく、研究・教育にかかわるもの（事務作業を含む）に限定されます。

2．本制度の申請理由

１）妊娠・出産・育児、介護に関する現状について

　**※以前の申請と内容が同じ場合は、内容の記載は不要です（下記にチェックを入れてください）**

**□ 以前の申請と同内容　（育児の場合は子の年齢＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）**

①妊娠・出産、育児、介護に関する現状（妊娠・出産・育児・介護に関して申請者が行っている活動の状況　　　　　および、それらをめぐる申請者の身体的状況、子どもの人数、年齢、要介護者の年齢、市町村認定の要介護度、要介護認定期間など）

②育児・介護に関する社会的支援（保育所入所の有無、施設利用状況など）の現状

③育児・介護に関する家族的支援（配偶者等との分担、支援など）の現状

**※本学はダイバーシティ推進のため、男性の育児休業・介護休業の取得を奨励しています**

２）１）から生じる研究上の困難について

　**※以前の申請と内容が同じ場合は、内容の記載は不要です（下記にチェックを入れてください）**

**□ 以前の申請と同内容**

3．その他　特記事項

※その他特記すべき事項があればご記入ください。

付記

申請書に記載された個人情報は、本事業の選考にのみ使用し、個人情報として適切に管理します。

【添付資料】臨時職員、RAの給与水準等およびTAの謝礼金の時間単価（2022年度）

1. 臨時職員の賃金単価（※別途、通勤費 上限2,600円／日を支給）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 分類基準 | 賃金単価（時給） |
| 一般業務 | ・一般（研究）事務補助・軽作業・実験補助 | 1,090円 |
| 専門業務 | A | ・専門知識は要するが単純・軽易な業務 | 1,220円 |
| B | ・専門知識を要する業務 | 1,350円 |
| C | ・専門知識を要する特に高度・困難な業務 | 1,460円 |

２）RAの給与水準

○1日当たり7時間45分を勤務時間とする場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 勤務日数 | 大学院博士前期課程 | 大学院博士後期課程 |
| 16日（参考） | 154,000円 | 179,700円 |
| 16日未満 | 154,000円÷16日×勤務日数 | 179,700円÷16日×勤務日数 |

○１日当たり7時間45分未満の勤務時間を設定する場合

例：博士前期課程1人、月6日、1日当たり5時間、6ヶ月間利用

＜金額の計算方法＞

月給の算出　　：154,000円÷16日÷7.75時間×5時間×6日＝37,258.064…

月給の切り上げ：1円未満の端数切り上げ　⇒　37,259円　×6ヶ月＝223,554円

３）TA謝礼金の時間単価

|  |  |
| --- | --- |
| 職区分 | 時間単価 |
| ティーチング・アシスタント（TA） | （D）1,400円（M,P）1,300円 |
| シニア・ティーチング・アシスタント（STA） | 1,700円 |